

第33回有瀬図書館ギャラリー展

神戸学院大学有瀬図書館

展示会通信第36号

2015年7月1日発行

# Meridian



## Osborne Collection

\*開催期間:2015.7.1(水)~2015.11.2(月)

\*開催場所:神戸学院大学有瀬図書館 本館2階エントランス展示コーナー

\*開催期間中、日曜・祝日は休館です。

\*開催時間や開催期間は変更になることがあります。  
図書館HP、掲示にてご確認のうえご来館ください。

第38回有瀬図書館ギャラリー展では、「オズボーン・コレクション」と題して、さまざまな作品を展示しています。普段は閉架資料として閲覧が制限されている貴重な資料も含まれています。この機会に、ぜひご覧ください。



## オズボーン・コレクション

氏が子どもの本の収集に志したのは、成人してから故郷に帰り、物置に彼の少年時代に愛読してやまなかった本が、くくられておいてあったのを発見した時に始まります。またその頃、氏の夫人メープルも、少女時代を過ごした家から古い愛読書を見つけました。

こうして、最初のごく個人的な懐旧の念から始まった夫妻の古い児童書の収集は、オズボーン氏の職業の影響もあって、歴史的・社会的にも貴重な記録をとどめておこうという熱心な収集に変わっていきました。

1946年、メープル夫人が死去したあと、オズボーン氏はトロント公共図書館の館長、チャールズ・R・サンダソン博士に書簡を送り、氏の集めた2000冊の本を、同図書館に寄贈することを申し出ました。そして1949年11月、トロント公共図書館に正式に寄贈されました。

## エドガー・オズボーン

エドガー・オズボーン氏は、郵便配達人を父として生まれ、小学校を出ると、あとは働きながら自分の家にあった物語の本、公共図書館の本、夜学等で自分を教育しました。そして終戦後、独学で図書館員の資格を取り、1928年にはイギリス、ダービシャーの州立図書館長に就任しました。

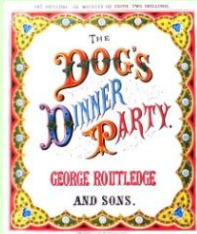
## ベルリン・コレクション

ドイツ国立図書館に収められている児童コレクションです。図書館創立当初、児童書は軽く扱われていましたが、第2次世界大戦後、再び図書館が開かれる時には、児童文学に対する見方も大きく変わっており、子どもの本やその古書を買って入れていくようになりました。

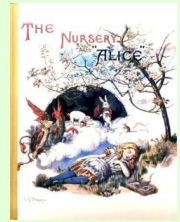
ドイツの児童図書のあるやうな分野をはじめ、ヨーロッパ諸国やそれ以外の国々の本も多く所蔵しています。



## 展示資料の紹介



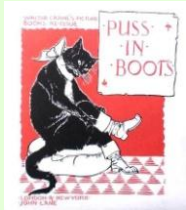
The Dog's dinner party  
犬の晩さん会



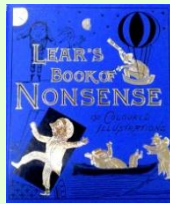
THE NURSERY "ALICE"  
おとぎの「アリス」



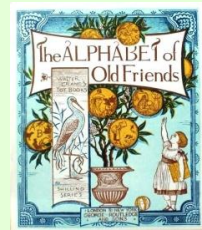
The baby's own Aesop  
幼な子のイソップ



Puss in boots  
長ぐつをはいた猫



A book of nonsense  
ナンセンスの本



The ALPHABET of Old Friends  
古いお友だちのアルファベット



Sneewittchen  
白雪姫



Der kleine König  
小さな王さま



## 展示の様子



### \*編集後記\*

今回のギャラリー展では、オズボーンコレクションを筆頭に世界の様々な絵本を集めました。カード状のものやとても小さいサイズのものなど、内容だけでなく見た目も個性的な作品が多く、一口に絵本といってもそれぞれ違った面白さが味わえると思います。長い歴史を持つ絵本の世界をどうぞお楽しみください。

### \*参考文献\*

石井桃子『オズボーン・コレクション<解説>』ほるぷ出版,1979

石井桃子『オズボーン・コレクション<絵本ガイド>』ほるぷ出版,1981

野村法『ベルリン・コレクション<解説>』ほるぷ出版,1982

神戸学院大学図書館 展示会通信 MERIDIAN 第36号

2015年7月1日発行

発行・編集:神戸学院大学 有瀬図書館

〒651-2180 神戸市西区伊川谷町有瀬518

TEL:078(974)4584 E-mail: pub-lib@j.kobegakuin.ac.jp

ホームページURL: <http://opac.kobegakuin.ac.jp/>